

第5学年-Unit7 単元名 Where is the treasure? 位置と場所 (3/3時間)

1. 単元目標 ・進んで場所を尋ねたり道案内をしたりしようとする。(コミュニケーションへの意欲・関心・態度) ・道案内や、物の位置を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。また、活字体の小文字を読んだり書いたりすることに慣れ親しむ。(外国語への慣れ親しみ) ・日本語と英語では道案内の仕方に違いがあることに気付く。(言語や文化に関する気付き)
--

2. 表現・言語材料 ○Where is the treasure? Go straight (for three blocks). Turn [right/ left](at the third corner). You can see it on your [right/ left]. It's [on/ in/ under/ by] (the desk). ○身の回りの物(cap, cup, basket, scissors, box),施設・建物(station, fire station, gas station, police station, office, hospital, supermarket, convenience store, department store, book store, park), treasure, block, under, by, corner
--

時間	児童の活動	指導者(T)の活動と使用英語例 ◎評価<方法>	準備物
8分	・挨拶をする。 <div style="border: 1px solid black; width: 60%; margin: 10px auto; padding: 5px; text-align: center;">道案内をしよう。</div>	・全体に挨拶し、個別に数名の児童にも挨拶する。	
	○ポインティングゲーム	・道案内で出てくる建物の名前や道案内の仕方のボードを作り、ポインティングゲームをする。テンポよく行い、何回も繰り返しできるように工夫をする。①指導者が言うー児童が指さす②児童が言うー指導者が指さす③お互いで言い合うなどアレンジをするとよい。	デジタル教材
5分	○Let's Chant(p.52) ・リズムに合わせて道案内のチャンツを言う。	・ジェスチャーをしながら宝探しをしている雰囲気を作って楽しく行う。 ・位置や方向を児童に選ばせた別のものに替えるなどすると、より意欲が高まる。	デジタル教材
10分	○Let's Listen 3(p.54) ・道案内の音声を聞いて道をたどり、行き着いた建物に番号を書く。	・1, 2番は音声を聞きながら一緒に指をさして、ゴールまで一緒にに行く。 ・児童が表現に慣れてきたら、リスニングをさせる。 ・音声についていけない場合は、指導者がゆっくりスクリプトを読み、指さしが進んでいるか確認しながら、繰り返し言うなどの配慮をし、道案内の表現に慣れさせる。 ◎日本語と英語では道案内の仕方に違いがあることに気付いている。(言語や文化に関する気付き)<振り返りカード>	デジタル教材
17分	○Let's Play 4(p.54) ・p.54の地図を使い、実際に友達と道案内をする。	・この活動では、Let's Listen3で聞いた道案内を、今度は児童同士で行い、道案内ができるようにすることをねらいとしている。道案内はできる限り簡単なルートを示すことが相手に対して親切なことなど、確認してから行うとよい。 ・うまくいかない場合はには、簡単な場所から始めたり、ペアと一緒に道案内して行き方を再確認してみたりなど、協力して活動させるようにする。 ・道案内をする側は、相手が理解しているか確かめながら行う。また、教えてもらう側は、自分が指示を理解していることが相手にわかるように聞くようにする。	
5分	・本時の活動を振り返り、記入する。挨拶をする。	・本時のねらいに照らして児童を評価する。 ・挨拶をする。	振り返りカード